

我が国の留学生政策の方向性

江 藤 一 洋

I 我が国の留学生交流の現況

我が国の留学生受入れ概況

1. 留学生総数

平成17年5月1日現在の留学生数 121,812人 (過去最高)
(対前年度 4,510人 (3.8%) 増)

2. 在学段階別留学生数

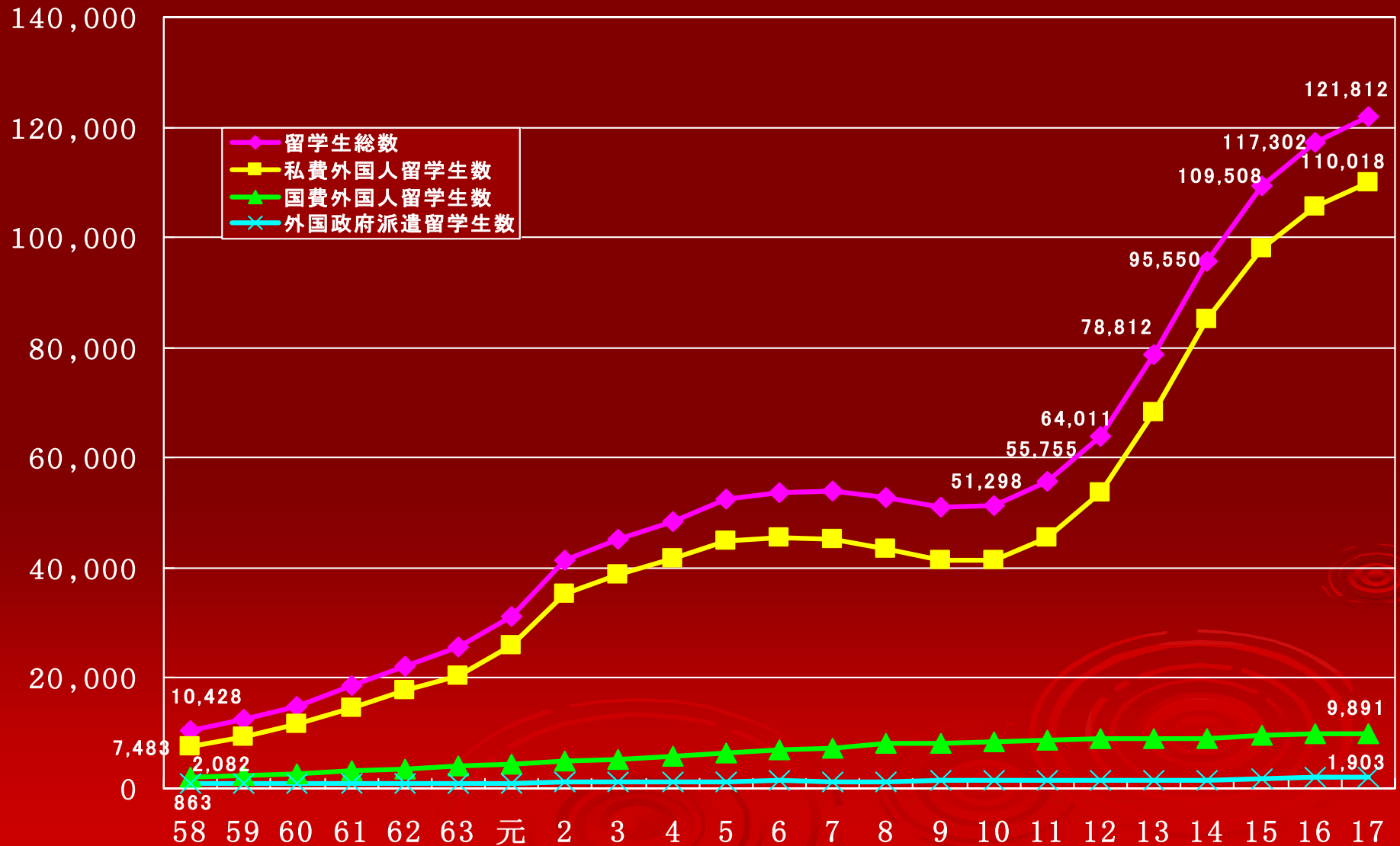
大学院	30,278人(764人 (2.6%) 増)
大学(学部)・短大・高専	64,774人(2,463人 (4.0%) 増)
専修学校(専門課程)	25,197人(1,364人 (5.7%) 増)
準備教育課程	1,563人(-81人 (-4.9%) 減)

3. 出身国(地域)別留学生数

中国	80,592人 (2,879人(3.7%) 増)
韓国	15,606人 (73人(0.5%) 増)
台湾	4,134人 (38人(0.9%) 増)
マレーシア	2,114人 (104人(5.2%) 増)
ベトナム	1,745人 (175人(11.1%) 増)

留学生数の推移

■大学・専門学校等の在籍者数(各年5月1日現在)



留学生交流関係の平成18年度予算(文部科学省)

平成18年度予算額	465億円
(1)日本人学生の海外留学支援	8億円
(2)私費外国人留学生等への援助	131億円
(3)国費留学生受け入れの充実	227億円
(4)留学生に対する教育・研究指導の支援等	99億円

留学生交流関係の平成18年度予算(外務省)

平成18年度予算額	38億円
(1)留学希望者への情報提供、国費留学生の募集選考	1億円
(2)帰国留学生活動支援の充実	2億円
(3)私費留学生育英資金貸与事業	1億円
(4)留学生支援無償(新規受入263人)	35億円

ラオス、ウズベキスタン、ベトナム、カンボジア、モンゴル、
ミャンマー、バングラディシュ、中国、インドネシア、フィリピン

Ⅱ 世界の留学生交流の現況

主要国の留学生受入れの状況

	米 国	英 国	ドイツ	フランス	オースト ラリア	日 本
高等教育機 関在学者数 (千人)	9,010 (15,312) (含パートタイム学生)	1,386	1,799	2,175	929	3,656
留学生(受 入れ)数(人)	572,509 (2003年)	325,760 (2003年)	246,136 (2003年)	245,298 (2003年)	151,798 (2004年)	121,812 (2005年)
国費外国人 留学生数 (人)	2,921 (2003年)	4,812 (2004年)	5,406 (2003年)	10,229 (2003年)	3,387 (2000年)	9,891 (2005年)
留学生(受入れ) 数÷高等教育 機関在学者数 (%)	6.3	23.5	13.6	11.2	16.3	3.3

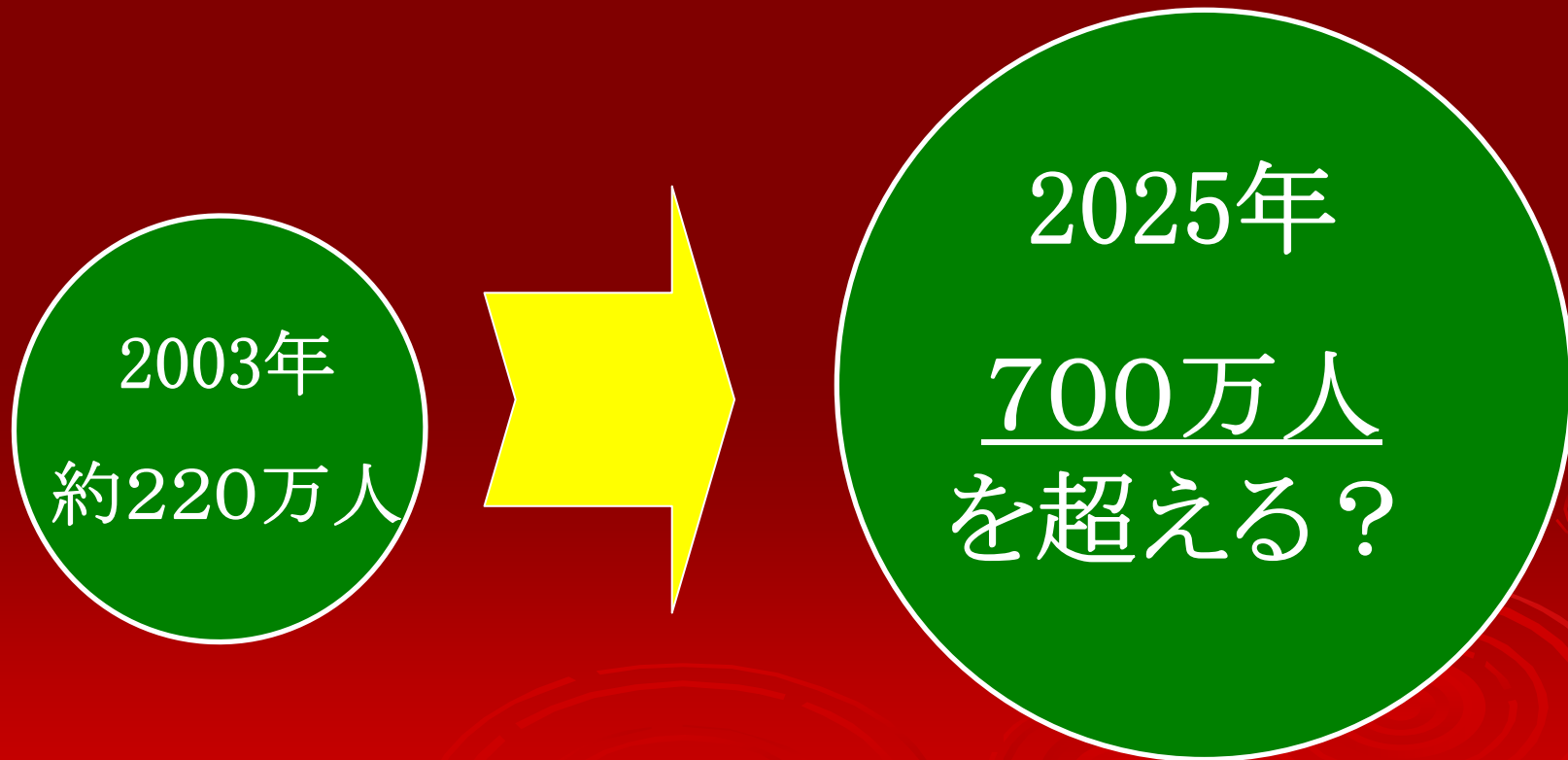
アジア地域の留学生の動態

	日本	米国	英国	仏国	独国	豪国	ニュージーランド	韓国	インド	マレーシア	タイ	計
韓国	19,062	51,519	2,609	2,696	5,466	4,265	969	—	108	321	78	89,271
タイ	1,390	9,982	2,650	555	794	5,666	354	30	293	761	—	23,061
マレーシア	1,612	6,595	9,715	220	245	19,431	831	98	786	—	57	46,795
シンガポール	115	4,189	3,988	87	103	15,238	224	4	10	486	6	24,628
ベトナム	1,092	2,722	310	2,404	1,635	2,794	253	254	142	303	154	13,255
インドネシア	1,382	10,432	899	201	2,443	13,260	321	70	58	4,731	24	35,170
インド	240	74,603	10,422	625	3,429	12,384	1,205	83	—	965	104	106,236

出典：OECD(2003年版)調べ

世界の留学交流は拡大傾向

例えば IDP Education Australia 試算によると



英国の留学生政策

1 留学生受入数

2003年 325,760人 → 日本の約3倍

2 経済政策の一環

2020年までに87万人(3倍増) 130億ポンドの経済効果を見込む

3 戦略的な留学生の確保

British Council	110か国	職員数 7,300人
JASSO	アジア4か国	職員数73名

4 留学生政策の明確な方向性

(1)国費留学生:国策(中長期的利益)

将来、各国の指導者となるような人材を発掘
→留学を通じて英国との関係を強固にする。

1983年以降、150か国4万人に支給。

留学生の中から大統領2名、副大統領1名、首相2名、多数の閣僚・経営者等を輩出

[帰国後フォローの徹底化(同窓会への援助)]

(2)私費留学生:大学の利益(短期的利益)

留学生数増→授業料収入増……大学の大きな収入源

豪国の留学生政策

1 留学生受入数（語学学校等含む）

1994年 93,722人 → 2004年 228,555人（約2.5倍増）

2 教育・輸出産業としての留学生受け入れ

Offshore Program

ツイニング・プログラム、海外分校、遠隔教育

2004年、約30%(6万4千人)がOffshore留学生

※日本：マレーシアとのツイニング・プログラム (円借款額約80億円)

実績数 305人、予定者数400人

3 在外公館 スタッフの充実

留学生獲得のため、教育・科学・訓練担当参事官の配置

米国の留学生政策

1 留学生受入数 2年連続留学生数減

2002年	586,323人	
2003年	572,509人	↓ (-2.4%)
2004年	565,039人	↓ (-1.3%)

2 米国人学生の留学先

中国留学	2002年 2,493人	→	2003年 4,737人(90.0%増)
日本留学	2002年 3,457人	→	2003年 3,707人(7.2%増)

3 大学単位から国家政策への転換

米国の安全保障の強化、孤立化からの脱却

National Security Language Initiative

派遣学生100万人計画

Q 米国に何故留学生が多く集まるのか?

A 世界中の頭脳を米国自身の活力源とするため外国人に労働市場を開放。留学生も卒業後米国内で職を得て、米国人と同様に昇進可能。また、1980年代に始まった18歳人口減を受け、米国大学は学生のリソースを留学生に求めてきた。

中国の留学生政策

1 留学生受入数

中国 2000年 52,150人 → 2004年 110,844人 (2.1%増)

日本 2000年 64,011人 → 2004年 117,302人 (1.9%増)

2 派遣中心から受入中心への政策転換

2007年までに留学生受入12万人を目指す。

→ 2005年に受入数14万人超を発表 (China radio international 2006.2.17)

2年前倒しで達成？

3 孔子学院の設置

世界規模界規模での中国語普及

設置目標:世界に計100校

中国の留学生受入・派遣動向

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	
留学生受入国 (他国→中国)	韓国	日本	米国	ベトナム	インドネシア	タイ	合計
受入留学生数	43,617	19,059	8,480	4,382	3,750	2,371	110,844
中国人学生 派遣国 (中国→他国)	米国	日本	英国	豪国	独国	ニュージーランド*	合計
派遣学生数	92,774	51,656	30,690	23,448	20,141	16,479	271,284

出典:受入・・・中国教育部(2004年版)調べ
派遣・・・OECD(2003年版)調べ

諸外国の留学生政策に関するまとめ

- 1 国費留学生・私費留学生について
- 2 数値目標について
- 3 留学生政策の展開について
 - ①高等教育の国際競争力強化
 - ②留学生を確保するための強力な海外拠点網の整備
 - ③留学生へのジョブマーケットの開放
 - ④民間奨学金の充実
 - ⑤帰国留学生への支援